

京都大学大学院 教育学研究科紀要

第48号

転換期の大学改革—グローバル化と大学のアメリカ・モデル
 20世紀日本における教育哲学
 Models of Life-span Developmental Psychology
 幼児の社会的問題解決能力と「心の理論」の発達
 多元的社会における宗教教育—イギリスを事例に—
 トルコの初等・中等教育の歴史と現状
 中国における教育法規の執行手続をめぐる問題点
 「教育界」の構造分析(I)
 「教育の情報化」と教育政策の展開
 明治期ミッションスクールと不敬事件
 総中流社会は存在するか？
 宗教的真理を語る比喩言説
 陶行知の生活教育理論についての考察
 「見立て」に関する一考察
 Schizoid心性について
 風景構成法のアイテム選択における二つの指向性
 青年期における強迫的心性に関する一考察
 心理学の可能性と倫理
 母娘関係における一体感と分離について
 自己愛についての一考察
 ある身体症状を抱える人のTAT反応に関する一研究
 他者認識における他性について
 ベーコン、スピノザ、ルソー
 現代中国における西南地区の大美育系統論の研究2
 森有礼の教育思想における心と身体
 「障害受容」における生涯発達とライフストーリー観の意義
 I. コールバーグのジャスト・コミュニティの分析を中心に
 ラッグ社会科コースにおける問題解決学習
 加藤周四郎の綴方評価論とその実際
 1980年代以降のアメリカ合衆国における「文化的リテラシー」論の展開
 戦後イギリスにおける共通カリキュラム論の考察
 被服が身体意識に及ぼす影響—自己対象化に基づいて—
 自己形成過程に関する研究の概観と今後の課題
 読解によって生成される文章表象の階層性と児童期後期における発達変化
 ことわざ解釈の抽象化による遠隔アナロジーの生成
 不備のある算数文章題に対する小学生と高校生の解決方略
 コミュニケーションにおける再帰的な心的状態の理解
 児童期における事例から理論を形成する科学的推論の発達
 コントロールの認知と学業成績に関する研究の展望
 聴覚刺激提示条件下での課題遂行成績とメタ認知の関係
 ビクトグラム活用の現状と今後の展望
 単語の産出における時間過程の展望

目 次

論文：

| | | |
|--|-------------|-----|
| 転換期の大学改革—グローバル化と大学のアメリカ・モデル | 江原 武 一 | 1 |
| 20世紀日本における教育哲学 | 山崎 高 哉 | 23 |
| Models of Life-span Developmental Psychology: A Construction of the Generative Life Cycle Model Including the Concept of "Death" | YAMADA Yoko | 39 |
| 幼児の社会的問題解決能力と「心の理論」の発達 | 子安増生・鈴木亜由美 | 63 |
| 多元的社会における宗教教育 —イギリスを事例に— | 鈴木 俊 之 | 84 |
| トルコの初等・中等教育の歴史と現状 | 宮崎 元 裕 | 95 |
| 中国における教育法規の執行手続をめぐる問題点 —義務教育段階の登校拒否の事例をもとに— | 邨 宝 文 | 108 |
| 「教育界」の構造分析(1) —昭和40年代“教育改革体制”のイデオロギー構造— | 末 富 芳 | 121 |
| 「教育の情報化」と教育政策の展開 —初等中等教育現場におけるコンピュータ・ネットワークの管理体制と 資源配分に関する検討— | 開 沼 太 郎 | 134 |
| 明治期ミッションスクールと不敬事件 | 佐 藤 八 寿 子 | 147 |
| 総中流社会は存在するか？ 南部ベルギー社会における社会空間の事例から | ヘイディ・クニップラト | 160 |
| 宗教的真理を語る比喻言説 —「考える葦」と「考える肢体」の比較考察— | 河 野 洋 子 | 173 |
| 陶行知の生活教育理論についての考察 | 陳 淑 敏 | 186 |
| 「見立て」に関する一考察 | 中 野 祐 子 | 199 |
| Schizoid心性について ～質問紙作成の試み～ | 山 川 裕 樹 | 211 |
| 風景構成法のアイテム選択における二つの指向性 | 武 藤 誠 | 224 |
| 青年期における強迫的心性に関する一考察 —衝動性とコントロールの力動という観点から— | 竹 林 奈 奈 | 236 |
| 心理学の可能性と倫理 | 猪 股 剛 | 249 |
| 母娘関係における一体感と分離について | 大 森 亜 紀 子 | 262 |

| | | |
|------------------------------------|-------|-----|
| 自己愛についての一考察 …………… | 桑原晴子 | 271 |
| —自己対象体験の視点から— | | |
| ある身体症状を抱える人のTAT反応に関する一研究 …………… | 土井真由子 | 284 |
| 他者認識における他性について …………… | 長田陽一 | 297 |
| ベーコン, スピノザ, ルソー …………… | 中井裕之 | 307 |
| —自然主義における力の内在化— | | |
| 現代中国における西南地区の大美育系統論の研究2 …………… | 楊奕 | 317 |
| —美と道德との関係を中心に— | | |
| 森有礼の教育思想における心と身体 …………… | 巖平 | 330 |
| 「障害受容」における生涯発達とライフストーリー観点の意義 …………… | 田垣正晋 | 342 |
| —日本の中途肢体障害者研究を中心に— | | |
| L.コールバーグのジャスト・コミュニティの分析を中心に …………… | 荒木寿友 | 353 |
| —対話のストラテジーに焦点を当てて— | | |
| ラッグ社会科コースにおける問題解決学習 …………… | 赤沢早人 | 366 |
| —プロジェクト法との比較を中心に— | | |
| 加藤周四郎の綴方評価論とその実際 …………… | 川地亜弥子 | 379 |
| 1980年代以降のアメリカ合衆国における | | |
| 「文化的リテラシー」論の展開 …………… | 谷川とみ子 | 392 |
| —多文化社会における共通教養の探究— | | |
| 戦後イギリスにおける共通カリキュラム論の考察 …………… | 二宮衆一 | 405 |
| —ハーストの「知識の形態」論からホワイトによる | | |
| 規範的教育目的論への変容— | | |
| 被服が身体意識に及ぼす影響 ～自己対象化に基づいて～ …………… | 田中久美子 | 418 |
| 自己形成過程に関する研究の概観と今後の課題 …………… | 水間玲子 | 429 |
| —個人の主体性の問題— | | |
| 読解によって生成される文章表象の階層性と | | |
| 児童期後期における発達変化 …………… | 西垣順子 | 442 |
| ことわざ解釈の抽象化による遠隔アナロジーの生成 …………… | 羽野ゆつ子 | 455 |
| 不備のある算数文章題に対する小学生と高校生の解決方略 …………… | 金田茂裕 | 468 |
| コミュニケーションにおける再帰的な心的状態の理解 …………… | 林創 | 478 |
| 児童期における事例から理論を形成する科学的推論の発達 …………… | 山縣宏美 | 491 |
| —形成する理論が既有知識と矛盾する場合の検討— | | |
| コントロールの認知と学業成績に関する研究の展望 …………… | 安寧 | 502 |
| 聴覚刺激提示条件下での課題遂行成績とメタ認知の関係 …………… | 宮原道子 | 515 |
| ピクトグラム活用の現状と今後の展望 …………… | 北神慎司 | 527 |
| —わかりやすいピクトグラム・よいピクトグラムとは?— | | |
| 単語の産出における時間過程の展望 …………… | 石井恒生 | 539 |

平成13年度修士論文

| 氏 名 | 論 文 題 目 |
|---------|---|
| 小 原 優 貴 | 開発途上国における政府-NGO連携の形態分析 —— インド・ラジャスタン州の教育NGOを中心として —— |
| 篠 崎 洋 子 | 留岡幸助の感化理念の意義と課題 児童自立支援施設の「家族制度」と「自立」に関する一考察 |
| 戸 田 暁 子 | 西尾実の「話しことば」教育に関する一考察 |
| 松 本 留 奈 | 遠隔教育の従来型教育へのインパクト |
| 保 田 正 樹 | 高等教育研究の学問論 ～「ミクロ」と「マクロ」の葛藤から対話へ～ |
| 木 下 雅 仁 | 石山脩平の「地域社会学校」論とその今日的意義 |
| 金 城 まりえ | 旧東ドイツの図書館と検閲：旧国立ドイツ図書館の「閉鎖書庫」を一例として |
| 近 藤 和 美 | 幼児期における類と時間に基づく問題解決の発達過程 |
| 渡 邊 一 郎 | 「教育の場における不確実性についての一考察」 —— 不確実性についての現象学的試み —— |
| 石 井 英 真 | アメリカにおけるブルーム・タキノミーの検討 —— 「改訂版タキノミー」への道程 —— |
| 伊 藤 実歩子 | 戦間期オーストリアにおけるレールプラン改革の検討 —— エドワード・ブルガーの労作教育論を中心に —— |
| 神 原 崇 仁 | 学校参加の制度理論に関する研究 —— マイケル・J・サンデルの公共哲学論を手がかりに —— |
| 鈴 木 亜由美 | 幼児の対人葛藤場面における自己調整機能の発達 —— 仮想場面と実験的観察場面の比較をもとに —— |
| 高 野 秀 晴 | 石門心学における語りとメディア |
| 谷 村 綾 子 | ノーマリゼーション原理の研究 —— Human management概念の検討を中心に |
| 都 村 聞 人 | フランスのメリトクラシー |
| 藤 岡 裕 美 | 生涯学習の枠組みに関する理論的考察 —— 〈ケア〉という視点から —— |
| 増 田 仁 | 教育における「労働力再生産」過程の再検討 —— 「高度成長期」における高等学校商業科をめぐる —— |
| 村 上 あ き | 後開発途上国における教育開発政策に関する研究 —— 基礎教育概念の再定義と政策的方法論の検討 —— |
| 渡 辺 貴 裕 | 戦前における波多野完治の児童文化論に関する考察 |
| 孫 金 紅 | 中国人日本語学習者の漢字認知：熟達度とのかかわり |

平成13年度修士論文

| | |
|-----------|---|
| 金 智 鉉 | 視覚障害者のための情報サービスに関する考察 —— 韓国の情報サービスの現状把握を中心に —— |
| 橋 本 京 子 | ストレスフルイベントにおけるポジティブ幻想の現れ方とその役割について |
| 樋 口 太 郎 | 西郷竹彦の文学教育論に関する一考察 —— 「文芸学」の展開との関係に焦点をあてて —— |
| 石 井 周 治 | 両大戦間期における配属将校制度と学校教育 —— 教練実践と配属将校のディレンマ —— |
| 渡 辺 徹 也 | 「学習」としての「回心」 —— グレゴリー・ベイトソンの学習理論をもとに —— |
| 飯 野 秀 子 | ロールシャッハ・テストと最早期記憶から見た個人の体験様式に関する研究 |
| 海 本 理 恵 子 | TATにおける「自己性」体験について |
| 川 部 哲 也 | 風邪体験に対する意味づけの研究 ～体験語りとロールシャッハ・テストの検討を通して～ |
| 久保田 美 法 | 老人臨床で「こぼれる」言葉の現象学的探求 ～その「重奏性」から |
| 里 見 聡 | 心理面接がもつ間主観性に関する一考察 ～WinnicottのSquiggle技法を通して～ |
| 高 嶋 雄 介 | バウムテストにおける体験過程の研究 ～表現することによって生じるズレ感に注目して～ |
| 田 中 享 | ドメスティック・バイオレンス加害者男性の心理に関する研究 |
| 中 川 美保子 | 青年期における自己愛と攻撃性についての一考察 —— 家族の変化を通して —— |
| 中 桐 万里子 | レトリカーとしての二宮尊徳 |
| 広 木 芽 枝 | 主体が表現する内的世界の一研究 —— 「つなぐ」ものとしての物語の視点から —— |
| 藤 本 麻起子 | 摂食障害を抱える人の関係性 |
| 和 田 竜 太 | 箱庭表現における身体感覚について ～擬態語を用いた振り返りを通して～ |
| 石 川 教 夫 | 『〈境界〉としての教育相談』 |

(合計39名)

平成13年度卒業論文

| 氏 名 | 論 文 題 目 |
|---------|--|
| 加 藤 阿紀子 | 教育における宗教的経験 |
| 貴 田 直 季 | 掲示板システムにおけるコミュニケーション問題について |
| 佐々木 優 | 「自己と現実」 |
| 高 橋 孝 輔 | 音楽についての考察 |
| 地 見 元 博 | 国分一太郎における作文教育の検討 |
| 石 井 学 | コメニウスの『大教授学』に関する一考察 —— 幼児教育論並びに児童教育論を中心として —— |
| 小 林 美智子 | 愛着対象の変容と信頼感について |
| 林 三恵子 | 死生観についての心理学的一考察 |
| 平 松 朋 子 | 対人場面における「聞き手」の「聞き方」に関して —— 自身と「聞き手」のTEGを描く —— |
| 若 林 晴 香 | 「食事」イメージとその対人関係的意味について |
| 佐 藤 真 由 | 能学の鑑賞価に与える事前情報の効果 |
| 瀧 川 哲 也 | 青年文化の変化に関する社会学的考察 |
| 西 川 和 孝 | 地方教育行政の広域化に関する考察 |
| 新 井 亮 介 | 響鳴する宇宙 —— ミンコフスキーとの協奏による探求 —— |
| 大 谷 暁 | 「過去の即自存在 —— タルコフスキー『鏡』の分析」 |
| 橋 高 昭 子 | アダルトチルドレンの問題に見る家族のあり方 |
| 窪 田 知 子 | 日本の障害児教育における「インテグレーション」に関する一考察 |
| 笹 村 俊 之 | 「テキストの自律性について」 |
| 佐 藤 絵里子 | 居場所からの往還 —— 『銀河鉄道の夜』と『星の王子さま』にみる主人公の変容 |
| 塩 見 英 子 | 遊びのかたちと遊ぶ子どものあり様 伝承遊びとテレビゲームの現象学的考察 |
| 島 本 壘 | 「労働と余暇」 |
| 中 島 理 恵 | 人間はなぜ泣くのか —— プレスナーの人間学を手がかりに —— |
| 楨 和 彦 | イヴァン・イリッチの脱学校論をめぐる語り分析 |
| 水 澤 真 菜 | 喪失の内面化による自己変容 |
| 河 合 大 輔 | 九鬼『偶然性の問題』における「目的なき目的」 |
| 古 川 雄 嗣 | 「日本ナショナリズム論」序説 |
| 浅 田 剛 正 | 描画法における模写を用いた段階的関与の研究 —— 風景構成法を通して —— |
| 内 田 智 子 | 無関連な視覚情報が記憶課題に及ぼす影響 |
| 丘 山 菜穂子 | 大学生における家族全体のイメージ —— 依存性との関連から —— |

平成 13 年度卒業論文

| | |
|------------|--|
| 尾崎 祐介 | 広告認知における感情プライミング ～長期的な単純接触効果の検討～ |
| 片畑 真由美 | 身体感覚がイメージ体験に及ぼす影響 ～箱庭制作における触覚の観点から～ |
| 岸本 奈奈 | 社会的交換における無条件協力行動とコミットメント戦略の進化 |
| 岸本 紀子 | 『Riddley Walker』を読む |
| 久保 明子 | 女子大学生における母親との相互的關係について |
| 竹中 菜苗 | 自我機能との関連から暗闇体験を記述する試み —— 実際の暗闇体験とイメージによる暗闇体験の 2 側面から —— |
| 野口 寿一 | TAT裏物語法の試み |
| 野村 光江 | 人物刺激を用いた注意の初期過程の研究 |
| 畑中 千紘 | 言語と非言語からの自己「表現」 —— 言葉とコラージュのPAC分析によるアプローチ —— |
| 林 美里 | チンパンジーにおける定型的操作の発達：K式発達検査による生後 1 年半の変化 |
| 松井 華子 | 対人恐怖の心性と「自己」の関わりについて —— 木村敏の存在構造論を通して —— |
| 矢納 あかね | 「粹の意味」について —— 摂食障害を持つ方々の、バウムテストにおける自分粹／他人粹の体験をもとに —— |
| 山口 智 | 想像上の仲間 —— バウムテストとの関連 —— |
| 中村 真理愛 | 「大学生における携帯メール利用と自己との関係」 |
| アルヴィンガレリアノ | “Within the Premises”学校内に起きる児童虐待の現象 |
| 井上 玲子 | 日本企業における能力開発の検討 ～コーチング導入にあたっての課題と可能性を探る～ |
| 玄 尚秀 | 日本の被害者処遇に果たす被害者学の意義 ～関係修復正義モデルの考察をまじえて～ |
| 柴田 真希 | アメリカにおけるキャリア選択援助システム |
| 高野 直美 | 社会人のキャリアアップ学習機会の保障 —— 大学の役割と課題に注目して —— |
| 谷口 誠 | スポーツ少年団から総合型地域スポーツクラブへの発展の試みについて |
| 土本 智 | 自己決定学習についての考察 |
| 中嶋 慎一 | 障害者差別の構造と差別解放へ向けた教育 |
| 林 智信 | 地域通貨LETSの〈可能性〉と限界 |
| 日根野 健 | 国立大学の法人化と財務会計制度の転換 —— 自主性・自律性、アカウントビリティ、監視機能に焦点をあてて —— |
| 三野 高志 | 書生の社会史 |
| 岡村 洋平 | 戦間期における学歴貴族と就職難 |
| 小伏 寛枝 | 医療の質とQOL —— 医療者と患者の視点 —— |

執筆者紹介（執筆順）

| | |
|------------|----------------------|
| 江原武一 | 本研究科教授（比較教育政策学講座） |
| 山崎高哉 | 本研究科教授（教育学講座） |
| やまだようこ | 本研究科教授（教育方法学講座） |
| 子安増生 | 本研究科教授（教育認知心理学講座） |
| 鈴木亜由美 | 修士課程2回生（教育認知心理学講座） |
| 鈴木俊之 | 博士後期課程3回生（比較教育政策学講座） |
| 宮崎元裕 | 博士後期課程2回生（比較教育政策学講座） |
| 部宝文 | 博士後期課程3回生（比較教育政策学講座） |
| 末富芳 | 博士後期課程3回生（比較教育政策学講座） |
| 開沼太郎 | 博士後期課程2回生（比較教育政策学講座） |
| 佐藤八寿子 | 博士後期課程3回生（教育社会学講座） |
| ヘイディ・クニツラト | 博士後期課程3回生（教育社会学講座） |
| 河野洋子 | 博士後期課程3回生（臨床教育学講座） |
| 陳淑敏 | 博士後期課程2回生（臨床教育学講座） |
| 中野祐子 | 博士後期課程3回生（心理臨床学講座） |
| 山川裕樹 | 博士後期課程3回生（心理臨床学講座） |
| 武藤誠 | 博士後期課程2回生（心理臨床学講座） |
| 竹林奈奈 | 博士後期課程3回生（心理臨床学講座） |
| 猪股剛 | 博士後期課程3回生（心理臨床学講座） |
| 大森亜紀子 | 博士後期課程3回生（心理臨床学講座） |
| 桑原晴子 | 博士後期課程2回生（心理臨床学講座） |
| 土井真由子 | 博士後期課程2回生（心理臨床学講座） |
| 長田陽一 | 博士後期課程3回生（臨床心理実践学講座） |
| 中井裕之 | 博士後期課程2回生（教育学講座） |
| 楊奕 | 博士後期課程2回生（教育学講座） |
| 嚴平 | 博士後期課程2回生（教育学講座） |
| 田垣正晋 | 博士後期課程3回生（教育方法学講座） |
| 荒木寿友 | 博士後期課程2回生（教育方法学講座） |
| 赤沢早人 | 博士後期課程1回生（教育方法学講座） |
| 川地亜弥子 | 博士後期課程1回生（教育方法学講座） |
| 谷川とみ子 | 博士後期課程1回生（教育方法学講座） |
| 二宮衆一 | 博士後期課程1回生（教育方法学講座） |
| 田中久美子 | 博士後期課程3回生（教育心理学講座） |
| 水間玲子 | 博士後期課程3回生（教育心理学講座） |
| 西垣順子 | 博士後期課程3回生（教育認知心理学講座） |
| 羽野ゆつ子 | 博士後期課程3回生（教育認知心理学講座） |
| 金田茂裕 | 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座） |
| 林創 | 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座） |
| 山懸宏美 | 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座） |
| 安寧 | 博士後期課程1回生（教育認知心理学講座） |
| 宮原道子 | 博士後期課程3回生（視聴覚教育講座） |
| 北神慎司 | 博士後期課程3回生（教育認知心理学講座） |
| 石井恒生 | 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座） |

編集委員 伊藤良子 徳岡秀雄 駒込 武

編集員 井上義和 橋彌和秀 秦 真理子
山森路子

平成14年3月25日 印刷

平成14年3月31日 発行

発行人 京都大学大学院教育学研究科
代表者 山中康裕

印刷所 嶋田綜合印刷
京都市左京区叡電出町柳町1

発行所 京都大学大学院教育学研究科
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

No.48

Contents

| | |
|---|-----------------------------|
| University Reform in Transition | EHARA Takekazu |
| Japanese Philosophy of Education in the 20th Century | Yamazaki Takaya |
| 生涯発達心理学のモデル | やまだようこ |
| Development of social problem solving and "theory of mind" in young children | KOYASU Masuo & SUZUKI Ayumi |
| Religious Education in a Pluralist Society | SUZUKI Toshiyuki |
| Historical Background and Present Condition of Primary and Secondary Education in Turkey | Miyazaki Motohiro |
| Problems Concerning the Executing Process of the Educational Laws in China | GAO Baowen |
| Structural Analysis about Political Field surrounds Education (I) | SUETOMI Kaori |
| Movement of Policies in "Computerization of Education" | KAINUMA Taro |
| Mission schools and the incidences of lese majesty during Meiji period in Japan | SATO Yasuko |
| Enormous middle class societies, do they exist? | KNIPPRATH Heidi |
| Metaphorical Statements Which Indicate Religious Truth | KAWANO Yoko |
| A Study on Life Education Theory of TaoXingzhi | CHEN Shumin |
| Mitate: Clinical Judgment in Psychotherapeutic Interviewing | NAKANO Yuko |
| About schizoid tendency | YAMAKAWA Hiroki |
| Two Intentions on Item Selection in LMT | MUTOH Makoto |
| A Study on Obsessive Personality in Adolescence | TAKEBAYASHI Nana |
| Möglichkeit und Sittlichkeit in der Psychologie | TSUYOSHI Inomata |
| Connected Feeling And Separation In Mother-Daughter Relationship | OOMORI Akiko |
| A Study on Narcissism | KUWABARA Haruko |
| A Study on The TAT of One with Atopic Dermatitis | DOI Mayuko |
| Otherness in Recognition of Others | NAGATA Yoichi |
| Bacon, Spinoza, Rousseau | NAKAI Hiroyuki |
| A Study of the Southwest's Systematic Theory of Aesthetic Education in Modern China | YANG Yi |
| On MORI Arinori's View of National Morals in 1880s' Japan | YAN Ping |
| The significance of perspectives of life-span development and life story in "the acceptance of disability" | TAGAKI Masakuni |
| Analysis of L.Kohlberg's Just Community | ARAKI Kazutomo |
| The Problem Solving Method in the Rugg Social Science Course | AKAZAWA Hayato |
| The Tszurikata (Composition) Assessment Theory by Kato Shusiro and his Practice | KAWAJI Ayako |
| The Development of the Theory of "Cultural Literacy" in the United States of America from 1980 onward | TANIKAWA Tomiko |
| Consideration of the Common Curriculum Theory in Postwar Britain | NINOMIYA Shuichi |
| The influence of clothing on body consciousness From the viewpoint of self-objectification | TANAKA Kumiko |
| The review and future tasks on the process of self-development | MIZUMA Reiko |
| Hierarchy of text representation generated by reading comprehension and its development in later childhood | NISHIGAKI Junko |
| Generation of remote analogies by abstracting interpretations from proverbs | HANO Yutsuko |
| Students' strategies for solving nonstandard arithmetic word problems | KINDA Shigehiro |
| Understanding recursive mental states when people communicate with each other | HAYASHI Hajimu |
| The development of scientific reasoning to form a theory from instances in childhood | YAMAGATA Hiromi |
| A Review of Research on Perceived Control and achievement in school | AN Ning |
| The relationship between the task performance and meta cognition during irrelevant auditory stimuli presentation | MIYAHARA Michiko |
| Practical Usage and Possibilities of Pictograms | KITAGAMI Shinji |
| A review on the time course of single word reading and production | ISHII Hisao |